



平成29年11月6日

各位

会社名 ヤマシンフィルタ株式会社
代表者名 代表取締役社長 山崎 敦彦
(コード番号: 6240 東証第一部)
問合せ先 執行役員管理本部長 井岡 周久
(TEL. 045-680-1671)

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年11月6日開催の取締役会において、平成29年5月12日に開示した平成30年3月期通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の業績予想の修正および期末配当予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 平成30年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	11,090	980	970	660	53.06 円
今回修正予想 (B)	12,500	1,750	1,720	1,180	18.97 円
増減額 (B-A)	1,410	770	750	520	—
増減率 (%)	12.7%	78.6%	77.3%	78.8%	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	10,007	957	934	640	51.46 円

(注1) 本日別途開示しております「株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり平成29年12月1日を効力発生日として普通株式1株を5株の割合で分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、94円87銭となります。

(注2) 前提為替レート 米ドル 115円 (前回見通し公表時 115円)
ユーロ 120円 (前回見通し公表時 120円)

2. 業績予想の修正理由

平成30年3月期の建設機械市場の見通しにつきましては、前回通期の業績予想を公表した平成29年5月12日時点と比較し、油圧ショベルをはじめとした建機需要は、当社の主要市場のひとつである中国市場を中心に各地で想定を上回る見通しであり、当社の売上高も当初の想定を上回る見通しであります。

このような外部環境の変化に加え、当社がグループ一体となり取り組んでいるコスト削減計画 PAC17 の成果により、前回公表した通期の業績予想を上回る見通しとなったため、平成29年5月12日に公表した通期の業績予想の修正を行います。

- a. 売上高については、ライン用フィルタに関しては、政府による固定資産投資、インフラ投資に基づく公共投資の活性化に伴う建機需要の大幅な増加の継続がみられる中国市場を中心に、北米及び東南アジア市場の堅調な需要に支えられ、前回開示した業績予想に比べ約23%の増収となる見込みです。
また、補給用フィルタに関しては、一部地域を除き、各地で建設機械の稼働時間が増加傾向にあり、とりわけ中国及び東南アジアのアフターマーケット市場における大幅な需要の増加により、前回開示した業績予想に比べ約8%の増収となる見込みであり、売上高全体では、前回開示した業績予想に比べ約12.7%の増収となる見込みです。
- b. 営業利益については、売上高の増加及び前年度より引き続き、利益確保のためのプロジェクトPAC17実施によるコスト削減効果はあるものの、将来の収益獲得のための人材の確保、新規ERPシステム稼働に伴うコストの発生等が見込まれることから、前回開示した業績予想に比べ78.6%の増益となる見込みです。
- c. 経常利益については、営業利益の増加に伴い、前回開示した業績予想に比べ77.3%の増益となる見込みです。
- d. 親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益の増加に伴い、前回開示した業績予想に比べ78.8%の増益となる見込みです。

3. 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と今後の事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記の基本方針ならびに当社を取り巻く経営環境等を総合的に勘案し、中間配当については1株につき7円とすることとし、期末配当予想については1株につき1.8円（本日別途開示しております「株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり平成29年12月1日を効力発生日として普通株式1株を5株の割合で分割する株式分割を考慮した額となります。）に修正いたします。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間の配当金は1株当たり16円となり、前回予想より2円増配となります。

また、連結配当性向は16.9%となります。

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 14.00
今回修正予想 (株式分割換算前)	—	1.80 (9.00)	— (16.00)
当期実績 (平成30年3月期)	7.00	—	—
前期実績 (平成29年3月期)	5.00	7.00	12.00

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上